

「基本目標」のコンセプトについて

成熟社会にある現在、市民が住まいやまちに求めるものは、まず、安心を支える基盤としての役割である。

また、まちの魅力は市民生活に豊かさを与える重要な要素であり、快適な環境や永い歴史を持つ居住文化などの魅力が市民の中にしっかりと根付くことにより、住む人の愛着や誇りを育み、住みたいまちとしてのポテンシャルが一層高められる。住みたいまちの実現は様々な都市活動の源となる人口の市内居住を促進させ、まちの元気を確かなものとする。

さらに、大切なことは、まちを次世代へとつないでいく持続可能性の確保である。地域のコミュニティや人のネットワークはもちろん、地球規模までも視野に入れた環境をより良い形で、将来に引き継いでいくための取り組みを、市民との協働のなかで進めていくことが重要である。

こうした考え方にに基づき、各種の施策を総合的に推進し、活気ある多様な居住をめざすべきである。

【キーワード】

活力、安心、環境、魅力、持続可能、市民協働 …

【基本目標案】

- ・人と環境にやさしく次世代につながる住まい・まちの実現
- ・誇りと愛着を擁く「住むまち・大阪」の実現
- ・成熟時代における持続可能な住まい・まちの実現
- ・市民とともに創る住みたくなるまち・大阪の実現

⋮

-
- ・活気あふれる多様な居住の実現

～○○○○○○○○をめざして～

《参考》平成16年8月答申における基本目標

活気あふれる多様な居住の実現

～「まちに住まう」新時代をめざして～